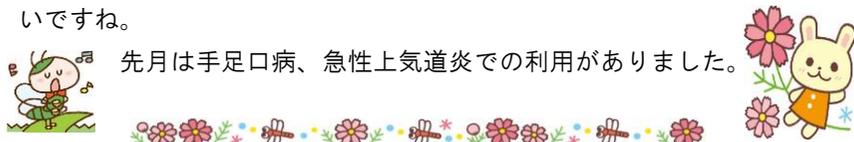




令和6年9月号 No.110
 砂川市病児・病後児保育施設
 TEL 0125 - 54 - 2278

まだまだ残暑が続きますが幾分過ごしやすいい日が増えてきましたね。そろそろ夏の疲れが出てくる頃です。「顔色は良いか」「食事を食べられるか」「眠れているか」「機嫌は良いか」「おしっこが出ているか」「ゴロゴロして動きたがらない」などいつもと異なる様子がないか全身状態の変化に注意を払うことが大切です。体調や様子の変化に気付いて身体を休ませたり、睡眠や食事のバランスに気をつけて今月も元気に過ごしたいですね。

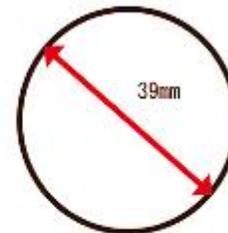


先月は手足口病、急性上気道炎での利用がありました。



9月9日は「救急の日」です。ご家庭での事故やけがへの注意は万全でしょうか？子どもは何が危険かを予測することが難しく、好奇心旺盛で怖いもの知らずな面があります。この機会に、事故やけがを防ぐために気をつけることを話し合ったり、物の置き場所を変えるなど子どもが安全に過ごせるようにしましょう。

家の中の事故を防ぎましょう

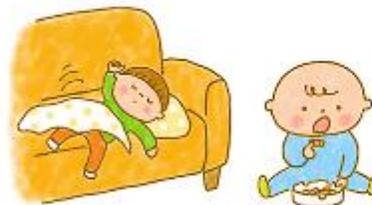


小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、葉など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険が高い場所だということをご存じでしょうか？ **0~6歳の子どもが起こす事故の約40%が、家の中で起こっています。**家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などによって手すりを越える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。